

2023 年第 18 週(5 月 1 日～5 月 7 日)

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律

感染症発生動向調査

名古屋市感染症発生動向調査情報

名古屋市感染症情報センター(名古屋市衛生研究所疫学情報部)

2023 年(令和 5 年) 5 月 11 日作成

<https://www.city.nagoya.jp/kurashi/category/15-7-3-3-0-0-0-0-0-0-0.html>

◆新型コロナウイルス感染症(COVID-19)について

- 令和 5 年 5 月 8 日から新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染症法上における位置づけが、新型インフルエンザ等感染症から 5 類感染症に移行しました。
- 患者数について、これまでの発生届や総数報告等による全数把握から、市内で指定された 70 の定点医療機関であるインフルエンザ/COVID-19 定点(指定届出機関)からの定点把握により発生動向の把握が行われることになりました。
- 指定届出機関の管理者により年齢階級別、性別の患者数について週 1 回の届出が実施されます。
- 名古屋市感染症発生動向調査情報(週報)では 2023 年第 19 週(5 月 8 日～5 月 14 日)より、5 類感染症に移行後の発生動向について掲載を予定しています。

◆新型コロナウイルス感染症の発生状況

- 令和 5 年 5 月 8 日現在までに、名古屋市内では 682,018 人の新型コロナウイルス陽性者(再陽性患者件数を含む)が確認され、市内における新型コロナウイルスに関連した死亡者は 1,550 人となっています。

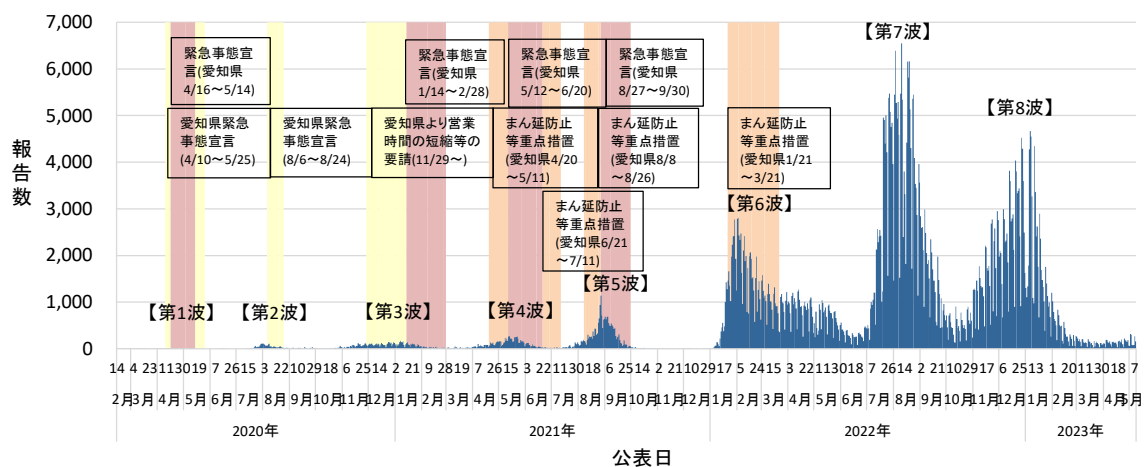
◆新型コロナウイルス感染症に関する相談等

新型コロナウイルス感染症に関する相談や発生状況等の情報については下記のリンク等をご覧ください。

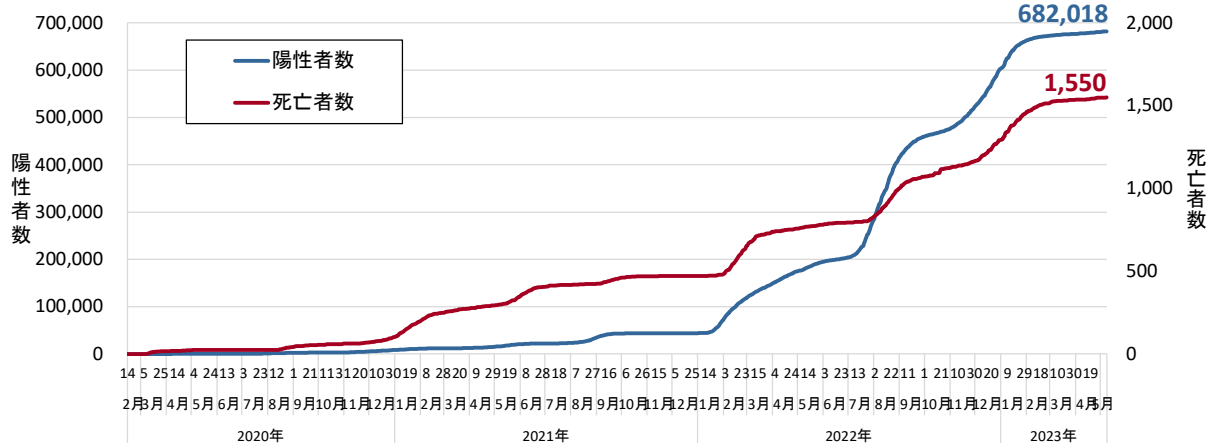
- 新型コロナウイルス感染症について(名古屋市)
<https://www.city.nagoya.jp/kenkofukushi/page/0000124556.html>
- 市内の新型コロナウイルス発生状況(名古屋市)
<https://www.city.nagoya.jp/kenkofukushi/page/0000157958.html>
- 愛知県新型コロナウイルス感染症対策サイト(愛知県)
<https://www.pref.aichi.jp/site/covid19-aichi/>
- 新型コロナウイルス感染症について(厚生労働省)
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html

〔名古屋市における新型コロナウイルス感染症報告数①（令和5年5月8日現在）〕

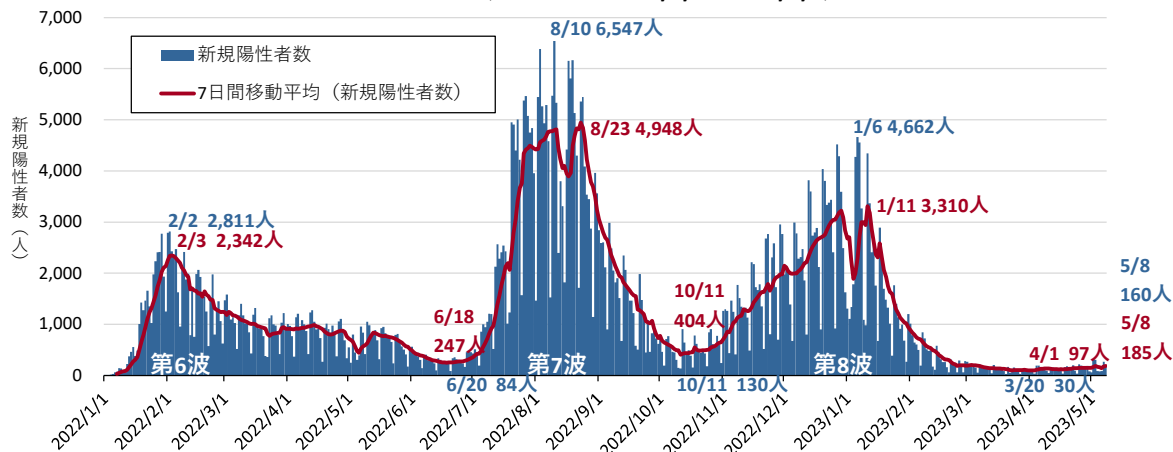
新型コロナウイルス陽性者数の推移（名古屋市：2020/2/14～2023/5/8 682,018人）



陽性者数、死亡者数の累計（名古屋市：2023年5月8日現在）

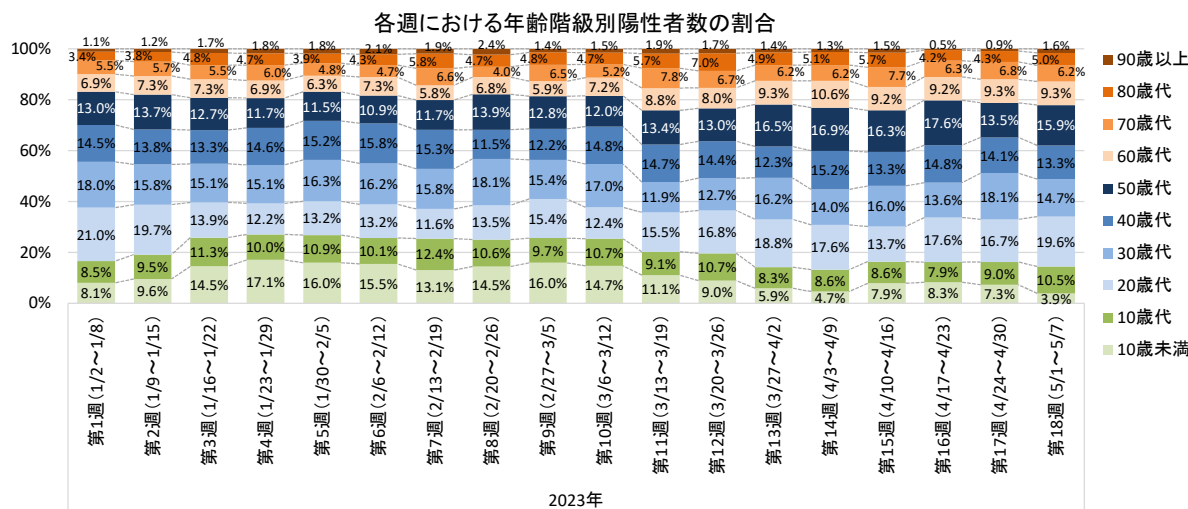
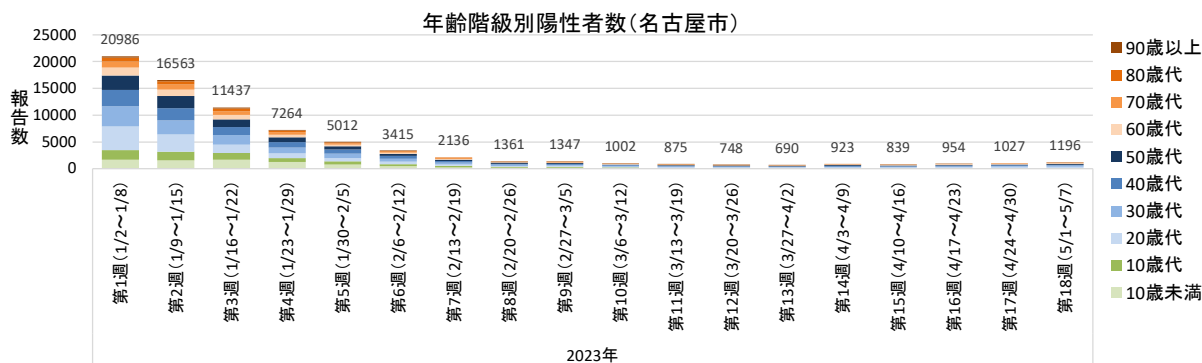


新規陽性者数（名古屋市：2022/1/1～2023/5/8）



〔名古屋市における新型コロナウイルス感染症報告数②（令和5年5月8日現在）〕

掲載データは本市記者発表資料から当所にて集計したもの。報告数は公表日の陽性者数を集計。なお、その後の訂正などにより変更される場合があります。

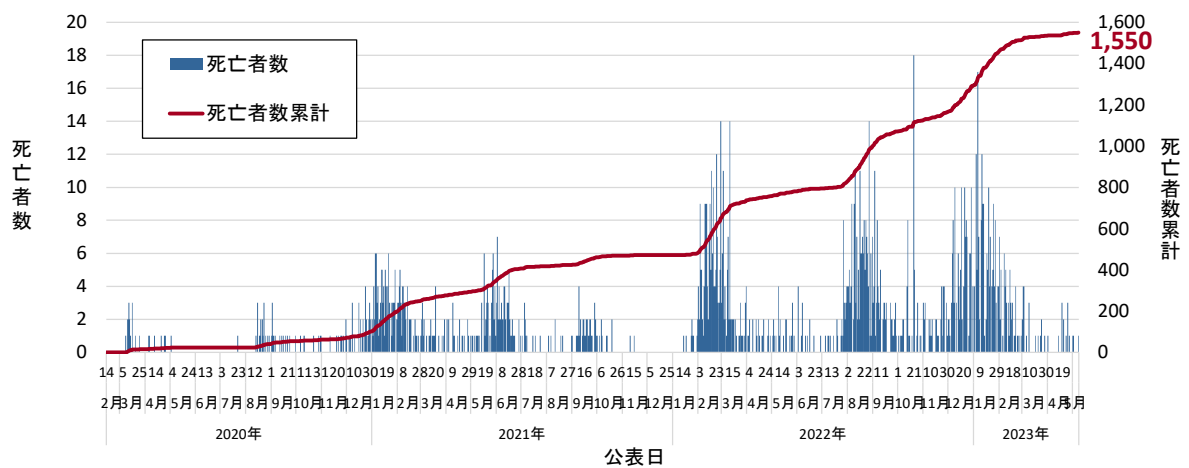


各週の年齢階級別報告数

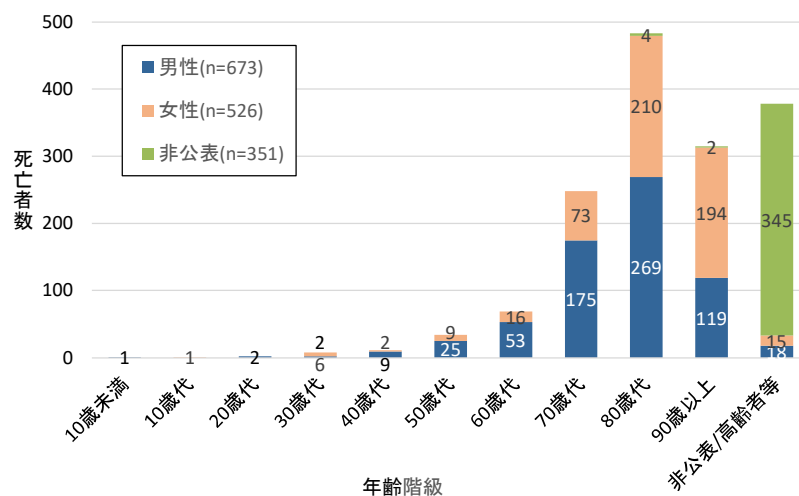
2023年	第1週	第2週	第3週	第4週	第5週	第6週	第7週	第8週	第9週	第10週	第11週	第12週	第13週	第14週	第15週	第16週	第17週	第18週
90歳以上	234	206	196	129	92	73	41	32	19	15	17	13	10	12	13	5	9	19
80歳代	720	632	547	338	194	146	124	64	65	47	50	52	34	47	48	40	44	60
70歳代	1144	940	624	434	241	160	142	55	88	52	68	50	43	57	65	60	70	74
60歳代	1444	1205	835	501	318	249	124	92	79	72	77	60	64	98	77	88	95	111
50歳代	2734	2262	1450	851	578	371	250	189	173	120	117	97	114	156	137	168	139	190
40歳代	3034	2280	1518	1062	763	538	327	157	164	148	129	108	85	140	112	141	145	159
30歳代	3787	2609	1727	1097	819	552	337	247	207	170	104	95	112	129	134	130	186	176
20歳代	4412	3257	1587	883	661	450	247	184	207	124	136	126	130	162	115	168	172	234
10歳代	1785	1581	1292	728	546	346	264	144	130	107	80	80	57	79	72	75	92	126
10歳未満	1692	1591	1661	1241	800	530	280	197	215	147	97	67	41	43	66	79	75	47
合計	20986	16563	11437	7264	5012	3415	2136	1361	1347	1002	875	748	690	923	839	954	1027	1196

〔名古屋市における新型コロナウイルスに関連した死亡者（令和 5 年 5 月 8 日現在）〕
令和 5 年 5 月 8 日現在、新型コロナウイルスに関連した死亡者は名古屋市内 1,550 人となっています。

新型コロナウイルス死亡者数(名古屋市 1,550人)



性別・年齢階級別死亡者数(名古屋市)



2020年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	総計
死亡者数(人)	—	0	16	6	1	0	1	17	14	7	8	31	101	1550
新規陽性者数(人)	—	24	98	149	6	12	770	1459	439	462	1899	3035	8353	
2021年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	
死亡者数(人)	96	51	27	19	52	60	11	7	36	9	2	0	370	682018
新規陽性者数(人)	2911	716	629	2449	5533	1498	1253	10880	9150	410	60	63	35552	
2022年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	
死亡者数(人)	10	170	86	20	23	14	32	173	72	52	41	130	823	682018
新規陽性者数(人)	27268	46642	30583	26088	20001	9299	79466	130697	45559	15914	46976	80377	558870	
2023年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	
死亡者数(人)	161	60	20	12	3								256	682018
新規陽性者数(人)	59021	10796	4100	3970	1356								79243	

◆本市の状況

〔定点把握感染症の発生動向〕

- ・ 特記することなし。

〔1 類～5 類全数把握感染症の届出〕

診断週	感染症 の分類	疾患	発生数	発生の概要
2023 年 第 18 週	2 類	結核	3	男性、86 歳、結核性胸膜炎 男性、37 歳、肺結核 男性、34 歳、無症状病原体保有者
2023 年 第 18 週	新型イン フルエン ザ等	新型コロナウイルス感染症	1196	下に別記載
2023 年 第 18 週	5 類	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感 染症	1	男性、81 歳、菌検出検体：血液、菌種： <i>Enterobacter kobei</i> 、感染原因：不明
2023 年 第 18 週	5 類	侵襲性肺炎球菌感染症	2	男性、3 歳、菌検出検体：血液 女性、91 歳、菌検出検体：血液
2023 年 第 18 週	5 類	梅毒	4	男性、51 歳、早期顕症梅毒 1 期 男性、24 歳、早期顕症梅毒 1 期 男性、67 歳、早期顕症梅毒 2 期 男性、77 歳、無症状病原体保有者

※ 感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを表示。

（報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります）

〔新型コロナウイルス感染症〕（新型インフルエンザ等感染症）

	0 歳	1 ～ 4 歳	5 ～ 9 歳	10 ～ 19 歳	20 ～ 29 歳	30 ～ 39 歳	40 ～ 49 歳	50 ～ 59 歳	60 ～ 64 歳	65 ～ 69 歳	70 ～ 79 歳	80 ～ 89 歳	90 歳 以上	合計
市内医療機関報告数※ ¹	5	20	18	120	217	169	145	178	68	36	74	60	19	1129
陽性者登録センター登録数※ ²	1	1	2	6	17	7	14	12	7	0	0	0	0	67
合 計	6	21	20	126	234	176	159	190	75	36	74	60	19	1196

※¹ 市内医療機関報告数：市内医療機関から報告を受けた新型コロナウイルス感染症患者の総数

【発生届対象の患者(4 類型)及び対象外の患者】（市内医療機関を受診した名古屋市外の患者も含む）

※² 陽性者登録センター登録数：医療機関を受診せず、自己検査等にて陽性になった患者の総数

報告日が遅れたため先週号までに掲載されなかった 1 類から 5 類全数報告感染症。

診断週	感染症 の分類	疾患	発生数	発生の概要
2023 年 第 17 週	2 類	結核	1	女性、86 歳、粟粒結核及び結核性胸膜炎
2023 年 第 17 週	5 類	水痘（入院例）	1	女性、21 歳、感染原因：不明
2023 年 第 17 週	5 類	梅毒	1	男性、44 歳、早期顕症梅毒 1 期
2023 年 第 16 週	5 類	梅毒	1	男性、25 歳、早期顕症梅毒 1 期

※ 感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを表示。

（報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります）

NIDWR Nagoya Infectious Diseases Weekly Report

〔2023 年 1 類～5 類全数把握感染症の届出報告数の累計〕

感染症の分類	疾患	累計
1 類感染症	エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、他	0
2 類感染症	急性灰白髄炎	0
2 類感染症	結核（潜在性結核感染症を含む）	129（50）
2 類感染症	ジフテリア	0
2 類感染症	重症急性呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属 SARS コロナウイルスであるものに限る）	0
2 類感染症	中東呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属 MERS コロナウイルスであるものに限る）	0
2 類感染症	鳥インフルエンザ（H5N1）	0
2 類感染症	鳥インフルエンザ（H7N9）	0
新型インフルエンザ等感染症	新型コロナウイルス感染症（病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス（令和 2 年 1 月に、中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。）であるものに限る。） ※令和 3 年 2 月 13 日から令和 5 年 5 月 7 日まで。	77775
3 類感染症	コレラ	0
3 類感染症	細菌性赤痢	0
3 類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	1
3 類感染症	腸チフス	0
3 類感染症	パラチフス	2（1）
4 類感染症	E 型肝炎	2
4 類感染症	マラリア	1
4 類感染症	レジオネラ症	4
5 類感染症	ウイルス性肝炎	3
5 類感染症	アメーバ赤痢	4
5 類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	22
5 類感染症	急性脳炎（ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く）	5
5 類感染症	クロイツフェルト・ヤコブ病	2
5 類感染症	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	12
5 類感染症	後天性免疫不全症候群	26（18）
5 類感染症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2
5 類感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	17
5 類感染症	水痘（入院例に限る）	2

NIDWR

Nagoya Infectious Diseases Weekly Report

5 類感染症	梅毒	159(43)
5 類感染症	百日咳	2

累計は 2023 年第 1 週からの診断週による累計、() 内は無症状病原体保有者累計数を再掲、[] 内は疑似症累計数を再掲、【 】内は感染症死亡者の死体累計数を再掲、〔 〕内は感染症死亡疑い者の死体累計数を再掲、〈 〉内は後天性免疫不全症候群の「その他」累計数を再掲。対象疾患が多いため、4 類及び 5 類感染症は報告のあった疾患のみを掲載。

(報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります)

NIDWR

Nagoya Infectious Diseases Weekly Report

〔愛知県麻疹・風しん患者調査事業について〕

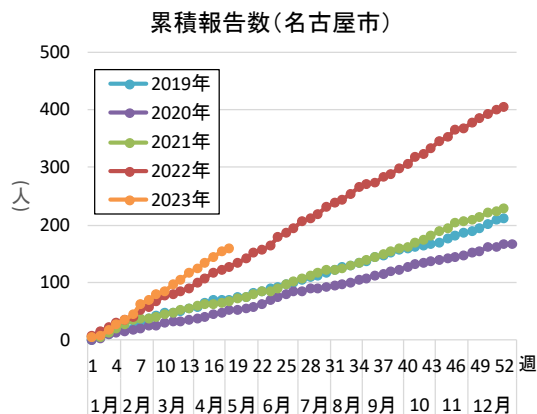
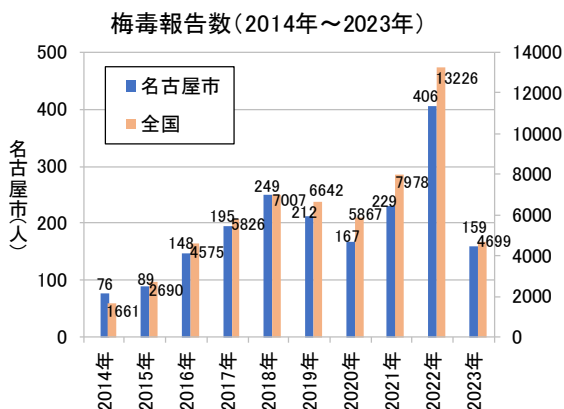
平成 20 年 1 月 1 日から、麻疹・風しんは全数把握対象疾患となりましたが、愛知県内では、感染症法に基づく届出では把握できない情報を得るため、医師会と協力して「愛知県麻疹・風しん患者調査事業」を実施しており、名古屋市も参加しています。調査結果については下記のリンク先（愛知県衛生研究所ホームページの中のコンテンツ <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/msl/msl.html>）をご覧ください。

〔定点医療機関からの情報〕

定点医療機関からは検査結果や患者発生状況等がコメント情報として報告されています。定点医療機関から報告されたコメント情報は下記のとおりです。なお、コメント情報のなかった定点医療機関については掲載しておりません。

サルモネラ胃腸炎 1 名	定点医療機関（千種区）
インフルエンザ A 型 5 人 B 型 3 人	定点医療機関（西区）
インフルエンザ A 型 4 名	定点医療機関（中村区）
インフルエンザ A	定点医療機関（中村区）
5/3-5/5 は休診	定点医療機関（中区）
A 型 1 名	定点医療機関（昭和区）
A 型 男性 6 名	定点医療機関（南区）

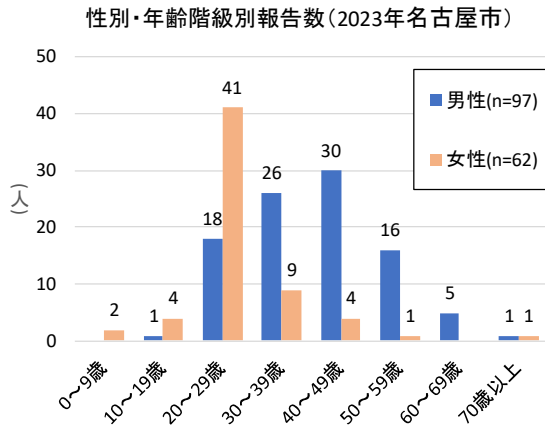
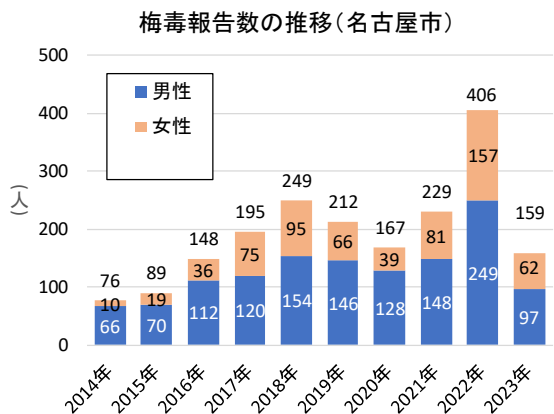
- 近年、梅毒の患者報告数が全国的に増加しており、**本市においても2023年（令和5年）の報告数は、1999年以降で最多となった昨年を上回るペースで増加しています。**患者は、男性では20～50歳代で多く、女性では20歳代で特に報告数が増加しています。
- 梅毒は、梅毒トレポネーマという病原体による感染症で、感染経路は感染部位と粘膜や皮膚との直接接触（性的接触）です。
- 梅毒の症状は、時間の経過とともに局所から全身に広がっていきます。症状が一時的に消失しても治療を行わないと病気は進行します。また、感染しても症状が現れない場合や治っても再度感染することがあります。
- 妊婦が梅毒に感染すると、胎盤を通して胎児も感染し、死産や早産、先天梅毒を起こす可能性があります。
- 梅毒の治療には抗生物質が用いられます。



梅毒報告数の推移

	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
名古屋市	76	89	148	195	249	212	167	229	406※3	159※1
全国	1661	2690	4575	5826	7007	6642	5867	7978	13226※3	4699※2

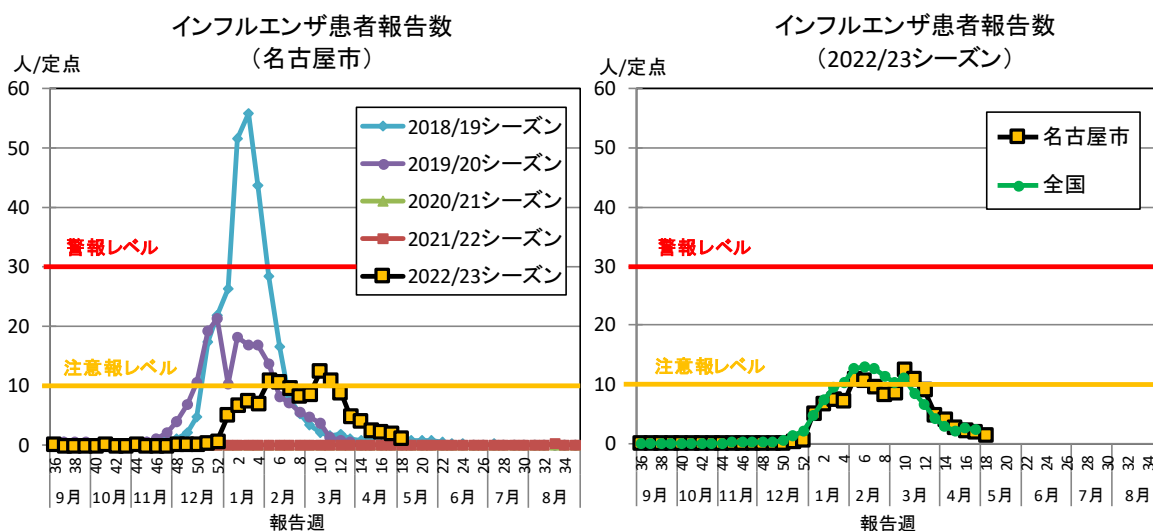
※1 第18週(5月7日)まで ※2 第17週(4月30日)まで ※3 報告数は速報値



〔トピックス：インフルエンザ〕

- 本市における第18週（5月1日～5月7日）の市内70定点からのインフルエンザ患者報告数は93人、定点当たり患者報告数は1.33人で前週より減少しました。
- インフルエンザは、インフルエンザウイルスを病原体とする急性の呼吸器感染症です。主な感染経路は、感染した人の咳やくしゃみによる飛沫感染と病原体に汚染された物等を介した接触感染があります。
- 感染後、1日から3日程度の潜伏期間を経て、発熱（38℃以上）、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感等が出現し、のどの痛み、鼻水、咳等の症状も見られます。1週間前後の経過で軽快するのが典型的なインフルエンザの症状であり、いわゆる「かぜ」に比べて全身症状が強いのが特徴です。高齢者や乳幼児などは重症化することがあるので、特に注意が必要です。

〔名古屋市のインフルエンザ患者報告数：2023年5月11日作成〕



定点当たり患者報告数(2022/23シーズン:8週分)

	第11週 (3/13～ 3/19)	第12週 (3/20～ 3/26)	第13週 (3/27～ 4/2)	第14週 (4/3～ 4/9)	第15週 (4/10～ 4/16)	第16週 (4/17～ 4/23)	第17週 (4/24～ 4/30)	第18週 (5/1～ 5/7)
名古屋市	10.99	8.97	4.94	4.11	2.61	2.30	2.04	1.33
愛知県	10.02	8.21	5.23	4.14	3.11	3.03	2.51	—
全国	8.42	6.44	4.06	2.77	2.16	2.51	2.24	—
名古屋市 (昨シーズン)	0.00	0.00	0.00	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00

※「1」を超えると流行入り、「10」を超えると注意報、「30」を超えると警報の基準
※報告数は各週公表時における速報値

各区の患者報告数(第18週)

	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	合計
市内70定点からの患者報告数(人)	4	3	2	17	7	1	1	1	0	6	4	6	5	20	16	0	93
定点当たり患者報告数(人)	0.8	0.8	0.4	4.3	1.4	0.3	0.2	0.2	0.0	1.5	1.0	1.5	1.0	5.0	4.0	0.0	1.33

インフルエンザ



2023年第18週

注意報警報レベルについて

患者報告状況 (定点当たり患者報告数)	色
平常レベル	
注意報レベル	
警報レベル	

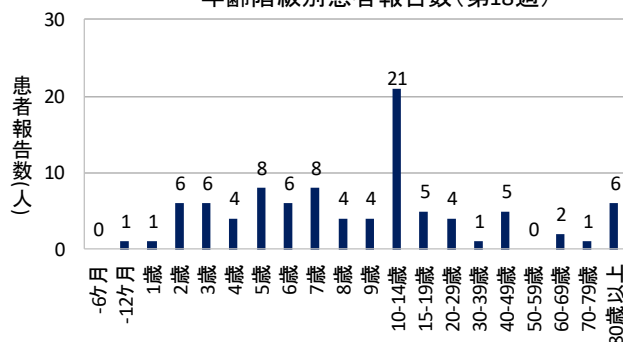
注意報・警報レベルの基準値(定点当たり患者報告数)

注意報レベル	警報レベル	
基準値	開始基準値	終息基準値
10	30	10

注意報レベル: 定点当たりの患者報告数が10以上30未満の場合
警報レベル: 定点当たりの患者報告数が30以上となり、その後、10未満となるまで

年齢階級別患者報告数

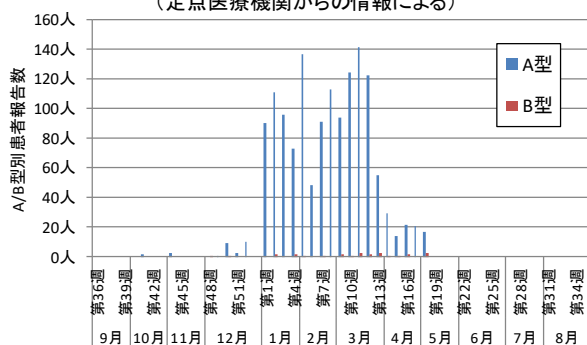
定点からのインフルエンザの 年齢階級別患者報告数(第18週)



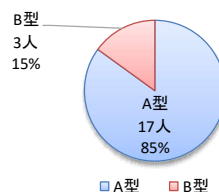
インフルエンザA/B型別流行状況

インフルエンザウイルス迅速診断キットによるインフルエンザA/B型別の検査結果が定点医療機関から報告されています。本市におけるインフルエンザA/B型別の患者情報を集計したところ、2022/23シーズンは、インフルエンザA型1426人、インフルエンザB型26人がこれまでに報告されています。インフルエンザウイルスのうちAH3亜型が全国的に多く検出されています。

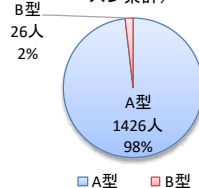
インフルエンザA/B型別患者報告数(2022/23シーズン) (定点医療機関からの情報による)



インフルエンザA/B型別患者 報告数の割合(第18週)



インフルエンザA/B型別患者 報告数の割合(2022/23シーズン累計)



◆2023年第18週 患者報告数(疾病区別)、定点あたり患者報告数(疾病区別)、年齢階層別

患者報告数（疾病別）

令和5年5月8日から新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染症法上における位置づけが、新型インフルエンザ等感染症から5類感染症に移行しました。2023年第19週（5月8日～5月14日）より、新型コロナウイルス感染症の発生動向を下記に掲載する予定です。

患者報告数（名古屋市）

2023年第18週（2023年5月1日～5月7日）

疾患 \ 区	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	計	前週比	過去比*
★ インフルエンザ	4	3	2	17	7	1	1	1		6	4	6	5	20	16		93	0.7	
○ RSウイルス感染症	5			6	5	2				6		1	4				29	0.9	2.0
○ 咽頭結膜熱	2		1	5								5		1	2		16	0.7	1.7
○ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1	3	4		2									4	5	19	0.6	1.4
○ 感染性胃腸炎	20	3	13	10	10	21	7			21	3	13	27	15	7	6	176	0.7	2.1
○ 水痘	1					1					3						5	0.6	2.5
○ 手足口病			1	3		1						4		2			11	0.8	11.0
○ 伝染性紅斑						1				2							3		1.5
○ 突発性発疹			1	1		1						1	1		1		6	0.5	0.6
○ ヘルパンギーナ		2		1													3	3.0	1.8
○ 流行性耳下腺炎												1				1	2	2.0	0.8
△ 急性出血性結膜炎																	0		
△ 流行性角結膜炎																	0	0.0	0.0
◇ 細菌性髄膜炎																	0		
◇ 無菌性髄膜炎																	0		
◇ マイコプラズマ肺炎																	0		
◇ クラミジア肺炎																	0		
◇ 感染性胃腸炎（ロタウイルスに限る）																	0		
計	32	9	21	47	22	30	8	1	0	35	10	31	37	38	30	12	363		

*過去3年の同週の平均値との比

★ インフルエンザ定点数	5	4	5	4	5	4	5	5	4	4	4	4	5	4	4	4	70
○ 小児科定点数	5	4	5	4	5	4	5	5	4	4	4	5	4	4	4	4	70
△ 眼科定点数	1		1	1	1		1	1	1			1		1	1	1	11
◇ 基幹定点数			1				1			1							3

★○△◇は定点種別を示す。
のセルは、該当疾病の定点医療機関のない区を示す。

定点あたり患者報告数、および流行警報・注意報発生状況（名古屋市）

2023年第18週（2023年5月1日～5月7日）

疾患 \ 区	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	平均
インフルエンザ	0.8	0.8	0.4	4.3	1.4	0.3	0.2	0.2		1.5	1.0	1.5	1.0	5.0	4.0		1.3
RSウイルス感染症	1.0			1.5	1.0	0.5				1.5			0.3	0.8			0.4
咽頭結膜熱	0.4		0.2	1.3									1.3		0.3	0.5	0.2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.3	0.6	1.0		0.5									1.0	1.3	0.3
感染性胃腸炎	4.0	0.8	2.6	2.5	2.0	5.3	1.4			5.3	0.8	3.3	5.4	3.8	1.8	1.5	2.5
水痘	0.2					0.3					0.8						0.1
手足口病			0.2	0.8		0.3						1.0		0.5			0.2
伝染性紅斑						0.3				0.5							0.0
突発性発疹			0.2	0.3		0.3							0.3	0.2	0.3		0.1
ヘルパンギーナ		0.5		0.3													0.0
流行性耳下腺炎												0.3				0.3	0.0
急性出血性結膜炎																	
流行性角結膜炎																	

警報対象疾患	流行発生警報		流行発生注意報基準値
	開始基準値	終息基準値	
インフルエンザ	30	10	10
咽頭結膜熱	3	1	—
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	—
感染性胃腸炎	20	12	—
水痘	2	1	1
手足口病	5	2	—
伝染性紅斑	2	1	—
ヘルパンギーナ	6	2	—
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	—
流行性角結膜炎	8	4	—

流行警報・注意報について

■ **太字の数字** は流行発生警報

■ **斜体の数字** は流行発生注意報

■ 警報及び注意報の発生は、厚生労働省の感染症発生動向調査における警報発生システムの基準値（左表）に準拠しています。なお基準値は、変更される場合や当センターの判断で、独自の設定に変更する場合があります。

■ この警報及び注意報は、感染症発生動向調査に関わる専門家の対策立案を支援するためのものです。詳しい目的、利用法等については当情報センターにご連絡ください。

NIDWR Nagoya Infectious Diseases Weekly Report

年齢階層別患者報告数(名古屋市)

2023年第18週(2023年5月1日～5月7日)

疾患 \ 年齢階層	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳以上
インフルエンザ		1	1	6	6	4	8	6	8	4	4	21	5	4	1	5		2	1	6

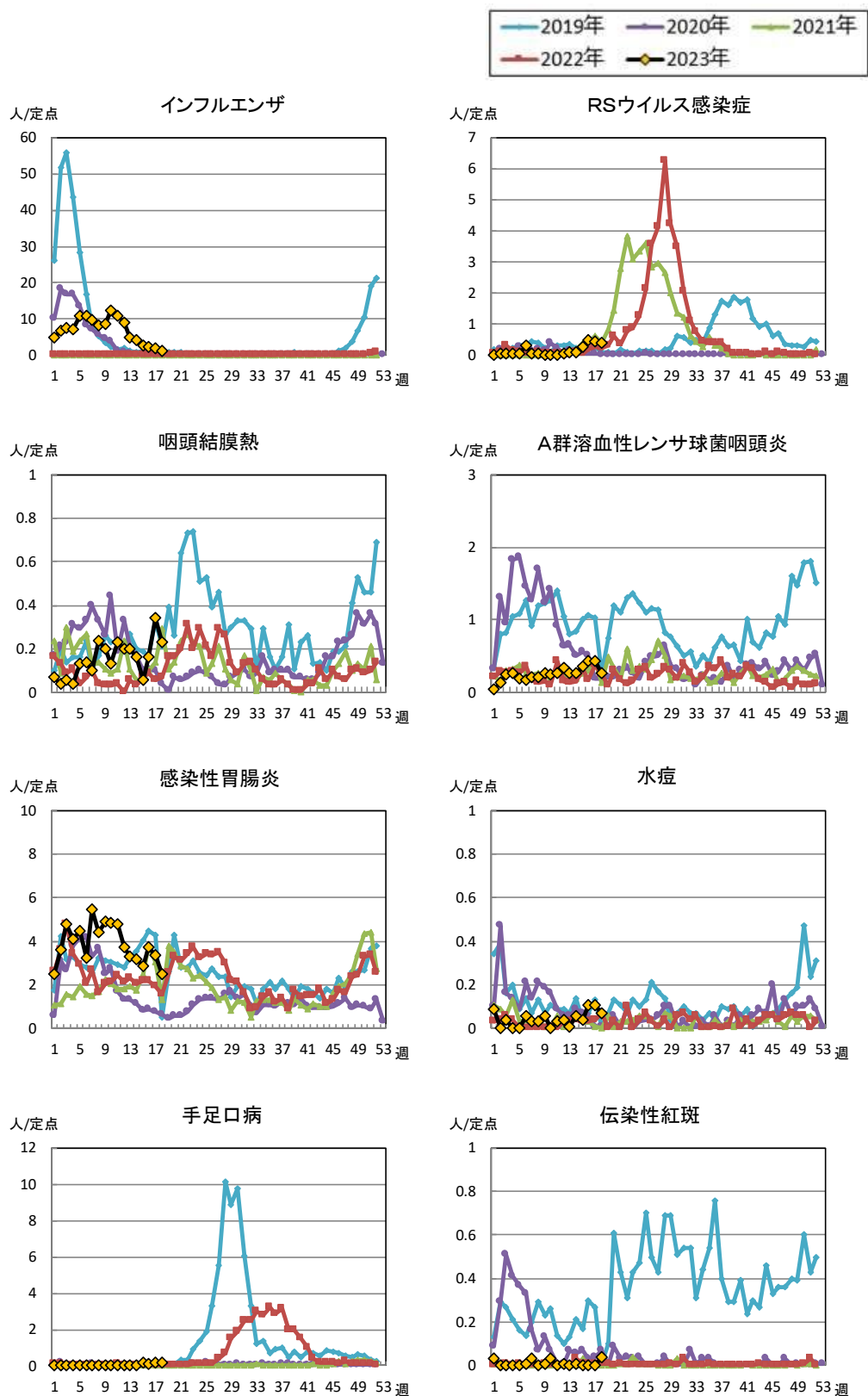
疾患 / 年齢階層	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20歳以上
RSウイルス感染症	4	9	8		5	1	1		1					
咽頭結膜熱		3	7	2	3		1							
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			1	1	2		5		3	2		3		2
感染性胃腸炎	2	11	22	16	20	16	26	12	10	5	5	6	5	20
水痘										1		1	1	2
手足口病			6	3	2									
伝染性紅斑			2		1									
突発性発しん		1	4	1										
ヘルパンギーナ			1			2								
流行性耳下腺炎							1		1					

疾患 / 年齢階層	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上
急性出血性結膜炎																			
流行性角結膜炎																			

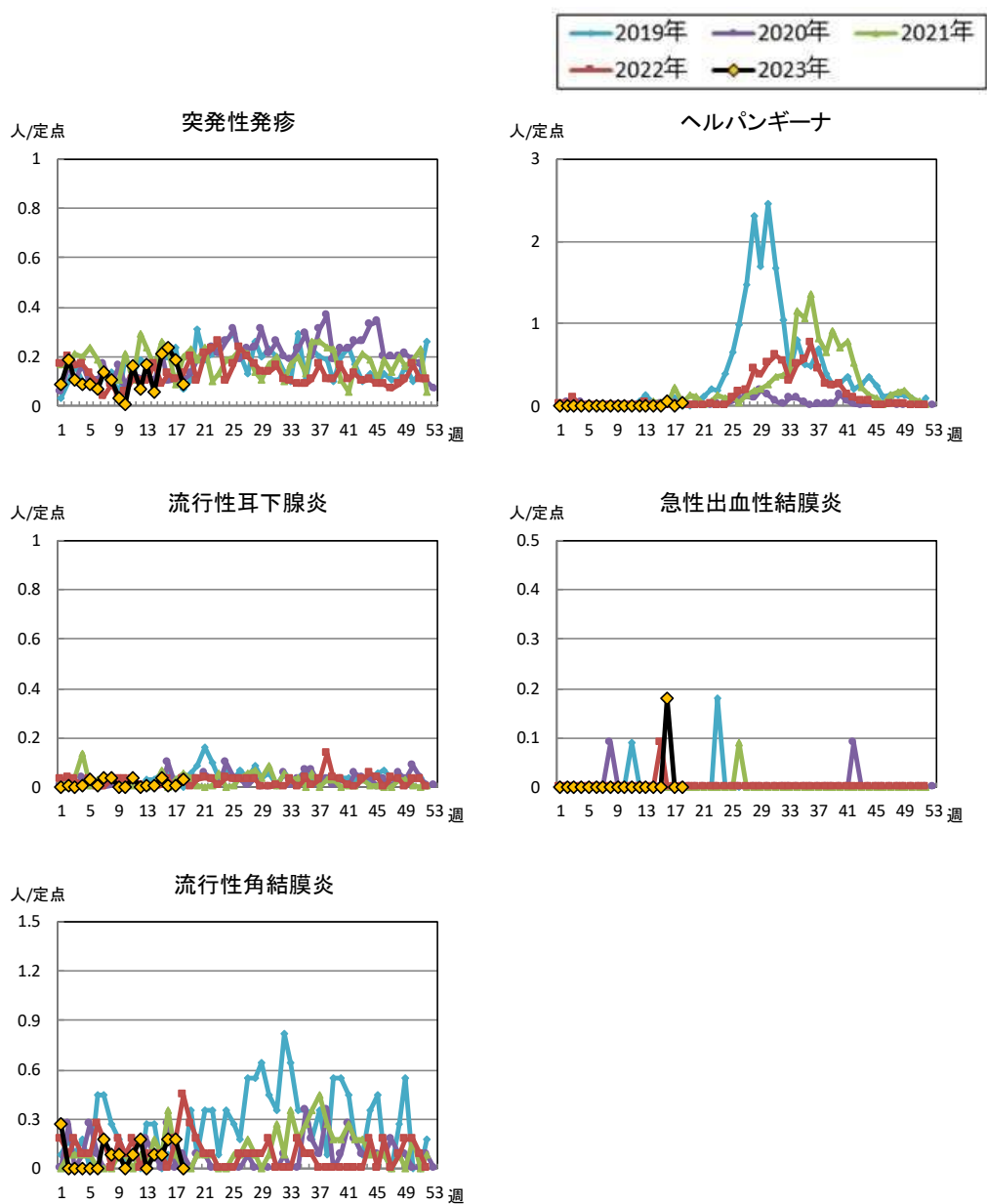
疾患 / 年齢階層	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上
細菌性髄膜炎																
無菌性髄膜炎																
マイコプラズマ肺炎																
クラミジア肺炎																
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)																

NIDWR Nagoya Infectious Diseases Weekly Report

◆小児科・インフルエンザ・眼科定点医療機関からの
定点あたり患者報告数の推移グラフ(1) 2023年第18週まで



◆小児科・インフルエンザ・眼科定点医療機関からの
 定点あたり患者報告数の推移グラフ(2) 2023年第18週まで



基幹病院定点月報の集計結果〔2023 年 4 月分〕

基幹定点数：3（北区、昭和区、中川区）

表1.基幹定点報告、区別患者報告数(名古屋市)

2023年4月

疾患 / 区	北	昭和	中川	計
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症				0
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症				0
薬剤耐性緑膿菌感染症				0
計	0	0	0	0

表2.基幹定点報告、年齢階級別報告数(名古屋市)

2023年4月

疾患 / 年齢階級	0-9	10-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-89	90歳-	計
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症											0
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症											0
薬剤耐性緑膿菌感染症											0
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

◆ 性感染症について〔性感染症定点把握、2023 年 4 月分〕

性感染症定点数：15（泌尿器科系：8、産婦人科系：7）

報告された患者数を性別でみると、男性では性器クラミジア感染症、淋菌感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマの順に多く、女性では性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマおよび淋菌感染症の順に多く報告がありました。今月の性感染症の報告数は男性 159 人、女性は 40 人でした。（表 2、図 1 参照）

2023 年 4 月分を年齢階級別に見ると、男性の性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、淋菌感染症では 15 歳以上の全ての年齢階級で報告がありました。尖圭コンジローマは 20 歳から 34 歳および 40 歳以上の年齢階級で報告がありました。女性では性器クラミジア感染症は 15 歳から 44 歳の年齢階級で報告があり、性器ヘルペスウイルス感染症は 20 歳から 34 歳、40 歳から 44 歳の年齢階級で報告がありました。尖圭コンジローマは 20 歳から 24 歳、30 歳から 34 歳の年齢階級で報告があり、淋菌感染症は 15 歳から 29 歳の年齢階級で報告がありました（表 2、図 2 参照）。

表1. 性感染症区別患者報告数(名古屋市)

2023年4月

疾患 / 区	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	計
性器クラミジア感染症	2		13	2	6	46	8	1		7	1	1		1			88
性器ヘルペスウイルス感染症			10			12	4	2			2					7	37
尖圭コンジローマ			6		5	8	3			6						1	29
淋菌感染症	1		10		1	16	4	1		10				1		1	45
計	3		39	2	12	82	19	4		23	3	1		2		9	199

STD 定点数	1		2	1	1	2	1	1		1	1	1		1	1	1	15
---------	---	--	---	---	---	---	---	---	--	---	---	---	--	---	---	---	----

のセルは、該当疾病の定点医療機関のない区を示す。

表2. 性感染症年齢階級別患者報告数(名古屋市)

2023年4月

疾患 / 年齢階級	性別	0-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55歳-	計
性器クラミジア感染症	男性		3	25	16	9	5	2	1	5	2	68
	女性		3	8	5	1	1	2				20
性器ヘルペスウイルス感染症	男性		1	3	6	3	3	3	1	2	7	29
	女性			3	2	2		1				8
尖圭コンジローマ	男性			7	6	3		2	2	2	1	23
	女性			3		3						6
淋菌感染症	男性		3	14	6	2	3	4	2	1	4	39
	女性		1	4	1							6
計	男性		7	49	34	17	11	11	6	10	14	159
	女性		4	18	8	6	1	3				40

図1. STD各感染症が総報告数に占める割合(2023年4月)

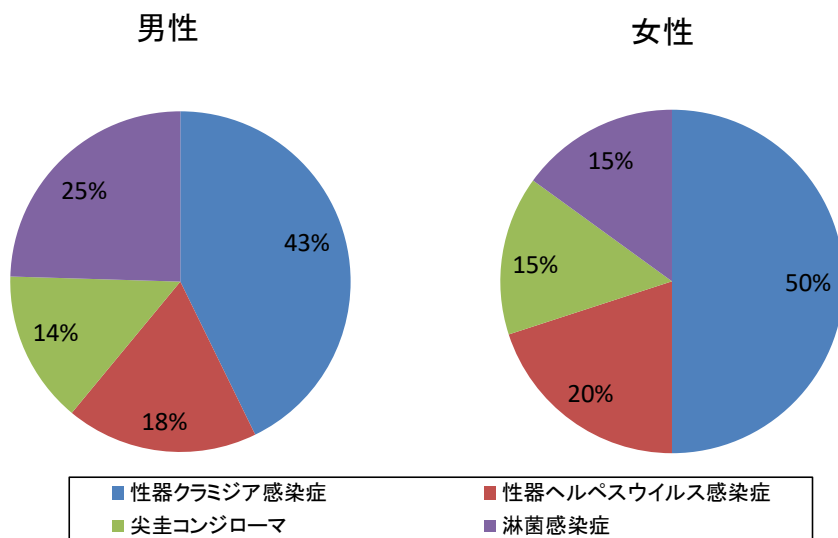


図2. 各STDの性別・年齢階級別の定点あたり報告数(2023年4月)

